

第36回武豊町地域公共交通会議 議事録

日時：令和3年3月30日（火）

10：00～12：00

武豊町役場 北庁舎2階 全員協議会室

○司会（防災交通課長 靱山）

- ・それでは定刻となりましたので、ただいまから「第36回武豊町地域公共交通会議」を開催させていただきます。委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。
- ・会議に入ります前に、代理出席のご報告をさせていただきます。本日は5名の委員から委任状をいただいておりますので、代理出席していただいておりますので、よろしくお願い致します。
- ・あわせて、本日の傍聴人は6名です。ご承知おきください。
- ・なお、この会議は公開で行い、開催内容につきましても町のホームページなどで広くお知らせしますので、よろしくお願い致します。
- ・次に資料の確認をさせていただきます。
- ・開会にあたりまして、会長であります、靱山芳輝武豊町長よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願い致します。

1. 会長あいさつ

○靱山町長

- ・おはようございます。本日はご多忙の中、第36回武豊町地域交通会議に出席いただきありがとうございます。日頃から、公共交通事業に対してご支援、ご協力をいただき、感謝申し上げます。
- ・前回35会議では、南部青ルート車両更新について協議いただいた。事務局にて検討を進めることになり、コロナ対策のため接触を避けることから2ドアタイプとすることとしました。
- ・また、武豊町は2月2日にゼロカーボンシティの宣言をして、二酸化炭素排出量ゼロを目指すこととし、車両の選定にあたっては環境対策に貢献する町のシンボルとして相応しい車両の選定を検討しています。来年度の調達予算については議会にて認められていますが、車両選定の内容を議会に報告すると共に、公共交通会議の6月会議で承認を頂く予定です。
- ・本日の議案ですが、報告事項5件、議案事項2件とその他2件を予定しています。皆様から忌憚のないご意見を頂戴し、挨拶とかえさせていただきます。

2. 委嘱状交付

○司会（防災交通課長 靱山）

- ・ありがとうございました。続きまして、2. 委嘱状の交付です。今年度、新しく委員になられました3名のご紹介をさせていただきます。お名前を読み上げますので、その場でご起立ください。

長尾部長 榊原 鉄弘（さかきばら てつひろ）様

富貴地区区長会長 水谷 茂男（みずたに しげお）様
愛知県半田警察署交通課長 渡邊 剛（わたなべ ごう）様

- ・委嘱状の交付につきましては、委員お一人ずつにお渡しするのが本意ではありますが、コロナ禍において対面を避けるため、机上にて配布をさせて頂いております。新しく委員になられました皆様、どうぞよろしくお願い致します。
- ・それでは、改めまして、本日の出席委員は、20名です。「武豊町地域公共交通会議規約」第6条第3項の規定によります過半数を超えるご出席を頂いており、本日の開会要件を満たしておりますので、これより議事に入らせて頂きます。
- ・「規約」の第5条第5項「座長は交通会議の議長となる。」とありますので、次第の3. 報告事項及び議案より、座長であります、伊豆原先生に進めて頂きます。よろしくお願い致します。

○伊豆原座長

- ・それでは、ここから次第に沿って会議を進めさせて頂きます。皆様のご協力よろしくお願い致します。今日は、町長から話が合ったように報告事項5件、議案2件あります
- ・時間の許す限り忌憚のないご意見をいただき、武豊町の公共交通が良くなるようにしていきたいと思っております。

3. 報告事項及び議案

（報告事項）

●報告事項1 本町における地域公共交通の利用実態について……資料1～4

○伊豆原座長

- ・報告事項1の「本町における地域公共交通の利用実態について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。利用実態について報告いただきました。ご意見、ご質問はございませんか。よろしいですか。コロナの影響を受けて利用者が減少しているのは、武豊町だけでなく全国的にも同じ。全国的にも4、5月が6割、11月頃から回復している状況はほぼ同じ。武豊町は回復の度合いが速いと感じる。ある意味では、移動される方の必需品として定着しているのではないかと。
- ・ご質問等ありますか。無いようなので、内容を確認いただいたとして、次に進みたいと思っております。

●報告事項2 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果…資料5

○伊豆原座長

- ・続きまして、報告事項2の「令和2年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。これは2月に中部運輸局にて開かれた第三者評価委員会にて、各市町の資料に基づいて評価した結果です。3月1日付で町まで報告された結果ですが、ご意見、ご質問はございませんか。
- ・後で議論します交通計画への反映も期待されています。計画を改定して、事業を進めていただきたいと評価した者としてはお伝えしておきたい。
- ・ご質問がないようですので、確認いただいたとして、次に進みたいと思います。

●報告事項3 コミュニティバス車両抗菌コーティングの実施について…資料6

○伊豆原座長

- ・続きまして、報告事項3の「コミュニティバス車内抗菌コーティングの実施について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。コミュニティバス車両抗菌コーティングの報告をいただきました。安心して乗車していただける事業です。意見、ご質問はございませんか。

○吉留委員代理（愛知運輸支局）

- ・周知方法について、車内と停留所での掲示ですが、広く周知をお願いしたいので、ホームページや広報の活用を検討ください。

○事務局

- ・周知方法については、広報たけとよのなかでコミュバスニュースのコーナーがある。また、町公式のツイッターなどを活用して広報していきたい。

○伊豆原座長

- ・継続してPRをお願いします。他にありますか。
- ・こうした努力を住民に伝えていただきたいので、委員の皆さんには、お帰りになったら話題にしていきたい。
- ・この内容も皆さんと確認したとして、次に進めさせていただく。

●報告事項4 住民ワークショップでの意見収集について……資料7

○伊豆原座長

- ・続きまして、報告事項4の「住民ワークショップでの意見収集について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。昨年7月から住民ワークショップを行い検討を続けている。来年度も引き続きワークショップをしていきますが、ご提案などを含め、ご意見を頂戴したい。

○天木委員（武豊町商工会長）

- ・3台目の投入は理解が得られにくいとしているが、3台目を投入しないのか。

○事務局

- ・住民アンケート調査から3台目の投資について理解が得られにくいとの結果があり、今の時点では、3台目の投入は理解が得られにくく困難であると考えますが、利用促進が進み利用が増えれば検討を考えたい。

○天木委員（武豊町商工会長）

- ・今の利用状況と停留所の設置状況を見ると限界だと思う。近隣の自治体を見ると、早朝の利用も行われており、車の大小はともかく3台目の投入をすべきだろう。

○伊豆原座長

- ・3台目の検討を進めるという提案でした。経費拡大があるので、事務局としては、予算の問題がありますが、ご提案の検討を考えてほしい。

○福本委員（武豊町議会議長）

- ・青ルートについて、プールのオープンを予定して検討されている。青ルートのみプールまで行く形だが、赤ルートは役場で乗り換えされてプールに行く方が多ければ、赤ルートもプールに行けるような検討を考えてほしい。乗り換えが少ないようであればよいが、多いようであれば検討の一つとして考えてほしい。

○事務局

- ・プールのオープン後、利用状況をふまえて、検討するようにしたい。

○木村委員（武豊町社会福祉協議会長）

- ・コミュニティバスは住民の意見を聞くことは大切。3月に無料乗車券を申請して入手した。3月19日イオンに行くためバスを利用した。その時に武豊高校東停留所から利用された杖をついた方に話を聞いた。週2回、石川病院まで利用。逆回りの路線があると良いと言っていた。また運行期間について年末の28日で終わるが、30日まで運行して欲しいという要望があった。
- ・名古屋に行くときには、青山駅を利用すると聞いた。青山駅では半田市のコミュニティバスと接続している。図書館にも行けると聞いた。乗っている方の意見を報告させていただく。

○伊豆原座長

- ・ご利用されている方は、半田市の乗り換え情報も持っている。我々としても情報提供の必要性を感じた。

○森川委員（安全タクシー）

- ・バスを補う交通手段の検討もいただいている。タクシーでの移動支援という位置づけ。タクシー事業の議論について、タクシー事業の良さはドアの前までいける利便性が高い点にある。ご自宅から停留所までの方が、タクシー事業の良さが生かせるのではないかと。利用制限として利用する対象者を絞りながらタクシーを活用する事業構築をお願いしたい。

○事務局

- ・タクシー事業者の協力も必要で、ご意見はありがたい。ワークショップでの議論を引き続き実施し、協力を仰ぎたいと思う。

○伊豆原座長

- ・タクシー事業については、1割引きの制度が住民に伝わっているか。二人で使えば半額になり、シェアリング、割り勘ができる。若い人の車離れもあり、タクシーの活用はいろんな検討ができる。1割引きの制度などを含め、タクシー活用をメッセージとして、住民に伝えられるとよい。ワークショップではそうした情報を伝えられるとよい。

○櫻場委員（生活の足を考える会代表）

- ・バスは利用が限定されるのであまり便利ではない。そこを補うのはタクシーだが、我々の世代は高いという印象を持つ。タクシーの利便性を理解している。
- ・住民は無料、安いという言葉に弱く、そうなればタクシーを使う抵抗がなくなる。私は町の支援を200円ではなく半額をねらっている。
- ・気楽にタクシーを使える環境をつくりたい。電話をしたらタクシーがくるような環境としていきたい。タクシーの車の数が減り、電話しても待たされるかもしれない不安がある。タクシーを使うハードルを下げるために、頻繁に乗る機会をつくりたい。

○伊豆原座長

- ・ワークショップには、ここで議論したことも報告していただき、引き続きワークショップで議論を重ねてください。気づいた点があれば事務局にお伝えください。ワークショップは、引き続き協議を進め、来年度経過報告をお願いします。
- ・意見収集については確認したとして、次の議事に移ります。

●報告事項5 南部青ルート車両更新について……………資料8

○伊豆原座長

- ・報告事項5「南部青ルートの車両更新案について」事務局から説明をお願いします。

○事務局説明

- ・6月の交通会議で車両選択を報告する。

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。前回の会議では、資料のとおりで、検討を続けたいという報告をいただいた。ご意見、ご質問はございませんか。

○福本委員（武豊町議会議長）

- ・町長の挨拶、田中補佐の説明でもあったように武豊町は2月2日ゼロカーボンシティの宣言をした。電気、ハイブリッド、水素など、環境により車両の選択をしてください。かなりの金額では問題だが、予算的にも理解の得られる差であれば賛同する。進めてほしい。
- ・赤ルートのポンチョを更新した。青ルートが環境に良い車両になって、赤だけがそのまま残るのは、どうかと思う。経年劣化を待つのではなく、売却なり、他利用を検討し、赤ルートの車両も更新することも検討してほしい。

○事務局

- ・貴重なご意見ありがとうございました。
- ・ゼロカーボンシティの推進のため、他の事例を研究し、北部赤ルートを運行する車両と同程度のサイズをもとに、環境性能のよい車両を選択したい。コストの検討については、充電器の設置による補正予算の審議をお願いしたい。
- ・赤ルートは、令和2年10月の時点では、不確実な状況だったので現行車両を選択した。補助金を活用して導入したため、5年間の利用といった制限があったので、適正利用して対応したい。

○朧山町長

- ・町では2月2日にゼロカーボンシティの宣言をした。現状、どんな施策があるかをみんなで考えたいとして、保育園、小学校、中学校、高校にもアイデアを聞いている。民間企業側でもゼロカーボンの動きで進めると聞いている。公用車もEVに変えていく。時間がかかるが進めていきたい。

○伊豆原座長

- ・町長から話の合った環境政策の方向性で進めていく。
- ・福本議長のご指摘について制約があるが、その中でどのように進められるかを事務局にて研究いただいて進めたい。環境対策のメッセージを住民に伝えるように進めたい。
- ・委員の皆さんのまわりで、同種の推進に対する情報があれば、事務局にお伝えください。
- ・他よろしいか。車両更新について、町の政策の方向性を確認した。

（議案）

●議案第1号 武豊町地域公共交通計画の策定について……………資料9

○伊豆原座長

- ・ここから、議案となります。議案第1号「武豊町地域公共交通計画の策定について」事務局から説明をお願いします。

○事務局説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。2頁の次期交通計画の骨子と3頁のスケジュールについて協議してほしいとの提案です。ご意見、ご質問はございませんか。

○吉富委員代理（愛知運輸支局）

- ・今回はスケジュールと目次案でした。交通計画については法改正されたばかりなので、計画策定の詳細は、支局と調整して進めてください。

○事務局

- ・心強いご支援ありがとうございます。是非一緒に進めさせていただきたい。

○伊豆原座長

- ・交通計画について、昨年5月に活性化再生法の改正が行われた。地域の資源の総動員、自らデザインすることが大きな柱になっている。
- ・中身について、バスとタクシーがメインの議論になっているが、それ以外の仕組みについて、交通会議でどのように扱っていくか、まだこの会議では議論できていない部分がある。
- ・3章部分の計画について、事務局でたたき台をつくっていただき、移動を助ける仕組みはたくさんあるので、町でサービスしていくこと、住民が自らサービスしていくこともありうると思っている。皆さんの協力を仰いでつくっていくことも大切である。
- ・例えば、いこいのサロンのように、高齢者の活動は大変有名な取り組みがある。私が知っている高齢者の会として、サロンの取組は、非常に優れている。参加されている委員のご意見を反映して計画策定をお願いしたい。
- ・また、10年計画となっている。5年たって中間見直しをしようとしているが、すこし長い。総合計画も5年で見直しされる。それにあわせて対応すると思うが、ゼロカーボンの変化、技術的な変化、情報化・IT化などは早いので、5年での見直しでよいのか。少しフレキシブルに見直せる仕組みにしておくことも大切ではないか。意見として事務局にて考えてほしい。固定化した計画は時代にそぐわないので、フレキシブルな対応ができる計画をつくっていくことが時代に即していると思う。計画を策定しながら議論したい。
- ・国の調査補助はうけられるのか。

○事務局

- ・補助を受けて対応したい。資料10で協議する。

○伊豆原座長

- ・来年1年間で策定する。この目次、スケジュールで進めたいが、異議ありますか？

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・異議ないようなので、承認されたものとします。

●議案第2号 令和3年度事業計画(案)について……………資料 10

○伊豆原座長

- ・それでは、議案第2号「令和3年度武豊町地域公共交通事業計画（案）及び武豊町地域公共交通会議の事業に関する協定書について」事務局から説明をお願いします。

○事務局説明

- ・令和3年度の事業計画の協議
- ・計画策定に関する事業計画の協議（交通計画の策定事業の実施、交通会議と町との協定締結・事業予算の扱い）（三菱UFJリサーチ&コンサルティングへの委託）

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。説明いただいた内容について、ご意見、ご質問はございませんか。
- ・補助金がこの会議に投入されるため、その処理について対応する。手続きは事務局にお願いする。委託をふくめて、同意していただき、手続き・処理は一任いただきたいが、よろしいか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。こうした処理は行政につきものとして、ご理解を頂戴した。
- ・全員の同意、了承をいただいたとして進めさせていただく。事業実施は、皆様のご協力を得て進めるものですので、引き続きご協力をお願いします。

4. その他

●武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の活動計画等

○伊豆原座長

- ・それでは、次第の4. その他に移ります。「武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の活動計画等」についてです。会長であります櫻場さんよりご報告をお願い致します。

○櫻場委員（生活の足を考える会代表）

- ・これまでの会の活動は、バスは移動手段として利用促進に力をいれてきた。バスの利用は健康な人でなければ使えない。車からバスに代わるには、車をやめてからでは健康のまま使えないので、健康促進として、遊びの一つとしてバスの利用を考えていきたいと思っている。
- ・免許証の返納も、健康なうちから返納して、バスを健康なうちから使う。歩きやすいまち、段差のない、安全に移動でき、休憩できる場所があるまちづくりを目指したい。歩くことのできる、自転車を使っている人が、バスを使う。健康なままバスを使えるようにしていきたい。そうしたことをできるような活動を考えている。

- ・歩くことが大切ということを行った。バスを補うのは、タクシーしかない。タクシーの利用のハードルを下げて、利用しやすくしたい。タクシー業界と意見交換をしながら、提案をいただきながら、タクシー利用を進めたい。

○森川委員（安全タクシー）

- ・われわれの良さはドアツードア、デメリットは高いということ。
- ・業界の状況について話をさせていただくと、コロナ禍で夜の利用が減った。売上も半分になった。タクシーを使っただいて、住みやすい町になるように協力をしていきたい。

○榎山町長

- ・ウォークアブルな街づくりを進めたい。
- ・国交省の補助事業の活用を考えている。歩きたくなるまち、木陰での休憩など、交流が進むまち、歴史文化のみちなど。既存の道路を活用しながら、健康増進ができるまちに。歩ける人はよいが、障害を持ち動くのが大変な人にもタクシーをうまく活用し、住みやすいまちにしていきたい。

○櫻場委員（生活の足を考える会代表）

- ・タクシー業界に、スマホの活用の取組をお伺いしたい。

○森川委員（安全タクシー）

- ・ジャパンタクシーのグループに入り、スマホのアプリケーションを導入している。全車搭載している。決済など、キャッシュレスでできるようになった。乗務員の社員教育も進めつつ、スマホの活用を進めたい。

○伊豆原座長

- ・動くことが楽しいというまちにしていきたい。歴史文化の要素など、どんなまちとして発展していくのか。住民の皆さんもまちづくりは興味を持ってもらえる部分だと思う。
- ・住民の皆さんの興味とあわせて、交通を考えていただきたいと思う。知恵を出しあっていたきたいと思う。生活の足の会の会合に、皆さんにもご参加いただきながら、議論を進めていただきたいと思う。

●日本モビリティマネジメント会議でのポスター発表

○伊豆原座長

- ・「日本モビリティマネジメント会議でのポスター発表」について事務局より説明をお願いします。

○事務局説明

- ・JCOMM 報告に加え次回 6 月会議の予定もあわせて報告。

○伊豆原座長

- ・JCOMM とよんでいる会議で、全国から人が集まり、民間・行政の参加もある情報交換の場となっている。武豊町の取組を発表いただいていた。今年度は広島。松江できなくて広島

での WEB 会議となった。継続して進めてほしい。課をまたいで施策が展開できるので、情報発信をお願いしたい。

- ・本日予定しました議事は全て終了いたしました。円滑な議事進行にご協力を頂きまして、ありがとうございます。事務局にお返しします。

5. 閉 会

○司会：靱山課長

- ・伊豆原先生、ありがとうございました。
- ・それでは、次第の5. 閉会に移ります。閉会にあたりまして、会長であります靱山芳輝武豊町長よりご挨拶を申し上げます。

○靱山町長

- ・長時間にわたりありがとうございました。伊豆原先生、進行ありがとうございました。また、委員の皆様からは、貴重なご意見、提言をたくさんいただきました。ありがとうございました。いただいた意見について検討を進めていきたい。
- ・令和3年度では交通計画の策定や青ルート車両の更新などがある。より多くの利用を頂けるよう事業を進めたい。青ルートの延伸検討なども事業者と連携協力し進めたい。
- ・住民の皆さんに安心して利用いただけるよう事業を進めていく。本日はありがとうございました。

○事務局

- ・次回「第37回武豊町地域公共交通会議」令和3年6月下旬開催予定です。
- ・ありがとうございました。以上をもちまして「第36回武豊町地域公共交通会議」を閉会いたします。ありがとうございました。

以上